

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
 コード番号 4739 URL <http://www.ctc-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

(氏名) 奥田 陽一
 (氏名) 小田 佳弘
 配当支払開始予定日

TEL 03-6203-5000
 平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	131,034	△0.4	5,349	90.6	5,217	68.0	2,676	100.3
21年3月期第2四半期	131,626	—	2,806	—	3,106	—	1,336	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	41.79	—
21年3月期第2四半期	20.40	20.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	214,204	148,103	68.9	2,305.03
21年3月期	227,456	147,768	64.7	2,299.63

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 147,590百万円 21年3月期 147,244百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
22年3月期	—	40.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	292,000	△5.0	21,000	△3.2	21,000	△4.7	12,000	△7.2	187.41

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	64,500,000株	21年3月期	66,000,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	470,245株	21年3月期	1,970,165株
-----------	-------------	----------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	64,029,783株	21年3月期第2四半期	65,509,587株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産が増勢基調で推移したほか、在庫調整の進展など景気底入れの兆しが見られたものの、雇用環境の悪化や円高の進行などを背景に引き続き低調に推移いたしました。情報サービス産業におきましても、企業収益や需要の回復に対する先行き懸念を反映し、IT投資の抑制傾向が継続いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、企業のIT投資抑制姿勢などを受けて、ハードウェアを中心とした製品や大型開発案件の受注が減少いたしました。システム運用コスト低減や効率化の要望を受け、仮想化や統合案件の獲得、データセンターを核としたアウトソーシングビジネスに注力いたしました。分野別では、通信業界向けのNGN、WiMAXといった次世代ネットワーク関連のビジネスや金融業界向け市場系システム構築、流通業界向け基幹系システムの大型案件や公共関連ビジネスなどで着実に実績を積み上げました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は131,034百万円（前年同期比0.4%減）となりました。利益面では、開発不採算案件の発生があったものの、保守サービスの収益向上および原価低減などに積極的に取り組み、売上総利益は33,249百万円（同1.7%増）、売上総利益率は前年同期の24.8%から25.4%に上昇いたしました。販売費及び一般管理費は、ビジネス内製化に伴う外部人件費の抑制や継続的な経費削減等に努め27,899百万円（前年同期比6.6%減）となり、営業利益は5,349百万円（同90.6%増）、経常利益は5,217百万円（同68.0%増）、四半期純利益は2,676百万円（同100.3%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて13,251百万円減少し、214,204百万円となりました。これは、主に有価証券の増加が29,003百万円あったものの、現金及び預金の減少が11,543百万円、受取手形及び売掛金の減少が23,159百万円あったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて13,586百万円減少し、66,101百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の減少が8,638百万円、未払法人税等の減少が5,304百万円あったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて334百万円増加し、148,103百万円となりました。これは、主に配当金の支払いによる減少が2,561百万円あったものの、四半期純利益による増加が2,676百万円、その他有価証券評価差額金の増加が250百万円あったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、引き続き、コスト低減や効率化に繋がるシステム投資が期待されるものの、円高傾向や低迷する個人消費を背景とした企業の投資抑制・選別志向や競争の激化など、当社グループを取り巻くビジネス環境は厳しい状況が続くものと思われまます。

当社グループにおきましては、このようなビジネス環境を踏まえつつ上期における受注高が低調であったこと及び上期末受注残高の内容等を鑑み、通期の連結業績予想について下表のとおり修正いたします。なお、利益予想につきましては、売上高減少による影響があるものの、上期実績及び開発案件でのプロジェクト管理徹底や継続的なコスト削減に努める方針であることから平成21年5月13日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	302,000	21,000	21,000	12,000	187.41
今回発表予想 (B)	292,000	21,000	21,000	12,000	187.41
増減額 (B-A)	△ 10,000	—	—	—	—
増減率 (%)	△ 3.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 平成21年3月期	307,254	21,687	22,026	12,936	199.21

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

受注制作のソフトウェア等に係る収益の計上基準の変更

受注制作のソフトウェア等に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号)を適用し、受注制作のソフトウェア等のうち、第1四半期連結会計期間に着手した契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる場合については工事進行基準(原則として、工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の場合については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,198百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ265百万円増加しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,889	41,432
受取手形及び売掛金	41,704	64,864
有価証券	34,995	5,991
商品	11,033	10,632
仕掛品	7,579	8,249
保守用部材	5,941	5,351
前払費用	17,074	12,961
その他	13,650	23,939
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	161,852	173,405
固定資産		
有形固定資産	30,389	31,686
無形固定資産	5,579	5,818
投資その他の資産		
その他	16,434	16,603
貸倒引当金	△51	△58
投資その他の資産合計	16,383	16,544
固定資産合計	52,352	54,050
資産合計	214,204	227,456
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,622	26,261
未払法人税等	2,001	7,305
前受収益	20,974	16,870
賞与引当金	4,445	5,765
受注損失引当金	399	103
アフターコスト引当金	430	304
その他	12,799	15,997
流動負債合計	58,673	72,608
固定負債		
退職給付引当金	297	288
その他	7,130	6,790
固定負債合計	7,427	7,079
負債合計	66,101	79,687

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,763	21,763
資本剰余金	33,076	33,076
利益剰余金	93,805	98,132
自己株式	△1,386	△5,806
株主資本合計	147,259	147,165
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	426	175
繰延ヘッジ損益	△14	△1
為替換算調整勘定	△80	△94
評価・換算差額等合計	331	79
少数株主持分	512	524
純資産合計	148,103	147,768
負債純資産合計	214,204	227,456

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	131,626	131,034
売上原価	98,945	97,785
売上総利益	32,680	33,249
販売費及び一般管理費	29,873	27,899
営業利益	2,806	5,349
営業外収益		
受取利息	200	60
受取配当金	96	41
持分法による投資利益	35	—
その他	92	116
営業外収益合計	423	218
営業外費用		
支払利息	11	105
持分法による投資損失	—	71
投資事業組合運用損	69	150
その他	43	23
営業外費用合計	124	351
経常利益	3,106	5,217
特別利益		
投資有価証券売却益	70	—
貸倒引当金戻入額	45	—
特別利益合計	115	—
特別損失		
固定資産除却損	56	135
減損損失	19	18
投資有価証券評価損	216	32
会員権評価損	—	20
アフターコスト引当金繰入額	228	—
損害賠償金	78	—
特別損失合計	598	207
税金等調整前四半期純利益	2,623	5,010
法人税、住民税及び事業税	1,933	2,289
法人税等調整額	△716	4
法人税等合計	1,217	2,294
少数株主利益	70	39
四半期純利益	1,336	2,676

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高(百万円)	21,763	33,076	98,132	△5,806	147,165
当第2四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△2,561		△2,561
四半期純利益			2,676		2,676
自己株式の消却(注)			△4,420	4,420	—
その他			△20	△0	△21
当第2四半期連結会計期間末までの変動額合計(百万円)	—	—	△4,326	4,420	93
当第2四半期連結会計期間末残高(百万円)	21,763	33,076	93,805	△1,386	147,259

(注) 平成21年6月30日付で自己株式 1,500,000株を消却しております。